

学校だより



きらめく子ら

標茶町立中茶安別小中学校 No. 8 令和7年11月25日発行

～パラダイムシフト～

校長 柏尾 和 市

子どもたちにとっても、職員にとっても、特に学びの実りを感じる11月が、あっという間に終わろうとしています。この11月は、落ち着いた日常の授業の学びに加えて、小学校の低学年で特別講師（佐藤守さん）による書道教室、高学年で栄養教諭さんや給食調理員さんとの調理実習、中学校で弟子屈警察署員による薬物乱用・護身術教室を行いました。今後、小学校の中学年では、タンチョウに関わる取組も予定しているところです。

大きな行事がないこの時期にこのような取組を通し、たくさんの方々とふれ合うことで、様々な価値や考えに触れたり、視野を広げたり、聞く力や伝える力、コミュニケーション能力を培うこと…など、どれも子どもたちの成長には欠かせないものです。子どもたちが真剣に楽しく取り組んでいる姿を見ると、いつも頼もしく感じます。もちろん、普段のお勉強や家庭学習、読書だけでなく、休み時間には元気に体を動かし、楽しく、仲良く遊ぶことにも全力で取り組んでほしいと思っています。

一方、我々職員にとっても、研究大会への参加や一人一授業の実践を積み重ねるとともに（お互いに授業を見合って研鑽します）、26日には釧路教育局から指導主事を招聘し、本校の研究内容や授業研究に対する助言を頂きます。引き続き、子どもたちの成長を支えるために学びを重ねていきます。

来月は、参観日、もちつき大会（準備含む）、学校評価がございますので、保護者の皆様にはご協力いただきますがどうぞよろしくお願いいたします。

さて、先日外食する機会がありました。すると、いつの間にか注文方法は自分のスマホ対応に変わっていて驚きました。「少し前まではタブレットだったのに…」と思いながら、お店のスタッフに聞いてみると「今はほとんどがスマホですよ。」と言われ、時代の変化を痛感しました。

こんな具合に、今まで当然と考えられていた物の見方や考え方が劇的に変化することを『パラダイムシフト』と呼ぶそうです（パラダイム＝常識、前提、シフト＝変化、移行）。他にも、固定電話がスマホやSNSに変わったり、カメラがフィルムからデジタルに変わり、もはやスマホが高性能を備えたカメラになったりと、ここ数年であらゆる分野でパラダイムシフトが進んでいます（ビジネス分野では、店舗販売からオンライン販売が良い例です）。

そして、その変化にデジタルが大きく関わるとDX（デジタルトランスフォーメーション）といって、3段階に分けられるそうです。

・第1段階…置き換え（デジタル化） ・第2段階…最適化 ・第3段階…新たな価値づけ

先程の注文方法の例で言うと、第1段階は注文をデジタル化することで、店側にしたら手間が省けて楽になるかもしれませんが、お客さんにしてみたら逆に煩わしく思う人もいかもしれません。そこで第2段階では、デジタル化することでお客さんのニーズが分析しやすくなり、食べたいメニューが増えたり、支払いもそのままスマホで行うことで効率的になったりと、多くの人にとっては便利に感じます。デリバリーやインバウンド対応など、新たな事業に発展させるのが第3段階です。

実は学校でも、子どもたちのタブレット活用が当たり前になったり、保護者向けのプリントをメール配信したり、アンケートもクラウド上で行ったりと、デジタル化してDXを推進しています。でもそれは、第1段階で、今後さらに推進していく必要があります。ICTを活用することで生徒の学びが深まったり、自分の習熟度に合わせて課題を選択したり、また、教師側も効果的な教育実践を実現することが、第2、第3段階につながります。

スマホやタブレットを使えて当たり前の時代ですが、子どもたちが社会に出る時には、それすら進化している可能性もあります。急激に変化する時代を生き抜いてくためにも、必要となる資質・能力の向上にむけ、子どもたちとともに私たちも全力で取り組みます。

家庭や地域との連携を深め、知・徳・体をバランスよくはぐくむ

■ 12月行事予定 ■

日	曜	行事予定	給食	部活
1	月		○	×
2	火	参観日(中総合発表会・小ミニツリー作り)・学級懇談・三者面談	○	×
3	水	標茶町学力・生活調査①	○	×
4	木	標茶町学力・生活調査② [小5]読み聞かせ	○	×
5	金	標茶町学力・生活調査③ 委員会	○	×
6	土	週休日		
7	日	週休日 単P研(そば打ち体験)		
8	月	全校朝会 ALT 学級討議 選挙管理委員会①	○	×
9	火	図書館バス 選挙管理委員会② 前期児童生徒会役員選挙立候補者受付開始	○	×
10	水	午前授業 保育園年長児学校訪問	○	×
11	木	特別時程 もちつき大会前日準備	○	×
12	金	午前授業 もちつき大会	×	×
13	土	週休日		
14	日	週休日		
15	月	ALT [中]冬休み課題一覧配布	○	×
16	火	特別時程 学期末清掃①	○	×
17	水	特別時程 [中3]学年末テスト範囲配布 学期末清掃②	○	×
18	木	特別時程 保育園年長児学校訪問 選挙管理委員会③ 学期末清掃③	○	×
19	金	選挙管理委員会④ 児童生徒会役員選挙告示 委員会	○	×
20	土	週休日		
21	日	週休日		
22	月	特別時程 ALT 学期末清掃④	○	×
23	火	特別時程 図書館バス 学期末清掃⑤	○	×
24	水	2学期終業式 学校便り発行	○	×
25	木	冬① [中]冬休み学習会①		
26	金	冬② [中]冬休み学習会②		
27	土	冬③ 週休日		
28	日	冬④ 週休日		
29	月	冬⑤ 年末休日 学校閉庁日		
30	火	冬⑥ 年末休日 学校閉庁日		
31	水	冬⑦ 年末休日 学校閉庁日		

※予定が変更になる場合もあります。各学年の時間割にてご確認ください。

学校ホームページ 随時更新中

日常の学校の様子は、トップページのフォトアルバムからご覧いただけます。検索サイトで「中茶安別小中学校」と検索するか、右記QRコードよりアクセスしてご覧ください。



2校合同柔道

10月20日（月）、23日（木）、29日（水）の3日間、町の武道場をお借りして、虹別中学校との合同柔道を実施しました。受け身や技だけでなく、立礼や座礼など柔道の礼法や武道に対する心構えなど、幅広く学ぶことができました。

ご指導いただいた標茶町スポーツ指導員の皆様、本当にありがとうございました。



秋の学校林活動

本校の「学校林活動」は、森林に関する体験的な活動を通して、自然を大切にしようとする心情を育てることをねらいに行われてきた伝統行事です。

27日（月）、今年度3回目となる「秋の学校林活動」を実施しました。林野庁北海道森林管理局釧路湿原森林ふれあい推進センターから3名の方を講師にお迎えし、森林の働きや林業の大切さについて教えていただきました。

低・中学年は丸太を使ってコースター作りを、高学年と中学生は巣箱作りと設置に取り組みました。木の香りを感じながらの作業に、子どもたちは夢中になって取り組み、完成した作品を手を笑顔を見せていました。

今回の活動を通して、自然の恵みや命のつながりを実感し、森を大切にする気持ちを育むことができました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。



調理員さんとの調理実習

5日（水）に、「子どもと学校給食調理員との調理実習会」が行われました。この調理実習会は、毎日の給食について理解を深めてもらおうと、町が毎年、町内の小中学校を対象に行っているものです。

児童は、調理員さんから包丁の使い方や調理のコツを教わりながら、協力して調理を進めました。自分たちで作った料理を味わいながら、給食づくりの大変さや工夫について理解

を深めることができました。

学校給食共同調理場の皆さん、貴重な体験をありがとうございました。



スケートリンク造成作業

11月6日（木）に小学校3年生以上の児童生徒と教職員で、スケートリンクの枠板を運びました。また、10日（月）には、保護者の方にご協力をいただき、枠板の固定作業を行いました。今年度も、昨年度と同様の形・サイズのリンクとしました。

子どもたちが楽しみながら滑走できるよう、体育の授業やスケート少年団の練習などを中心に活用していきます。

今後、降雪を待ってリンクの水撒きを行っていきます。その際、保護者の皆様にはまたご協力をいただくことになると思います。どうぞよろしくお願いいたします。



保育園児来校

本校では、来年度に入学を予定している保育園児が、月に1回ほど来校し、図書室の本を借りる活動を行っています。

子どもたちは、自分の興味のある本を一冊ずつ選び、大切に抱えて帰っていきます。最初は少し緊張した様子も見られましたが、回を重ねるごとに笑顔が増え、学校の雰囲気にも慣れてきたようです。

この活動を通して、入学前から学校への親しみをもち、安心して小学校生活をスタートできるようにと願っています。

今後も保育園との連携を大切にしながら、子どもたちの健やかな成長を見守っていきます。



少年の主張大会

11月15日（土）に、令和7年度標茶町少年の主張大会が行われ、本校を代表して小学校5年の加藤翔翀さん、菊地那由汰さん、木並澄瞳さん、寺倉雅人さん、吉田龍世さん、中学校1年の平野優惺さんが出場しました。

小学5年生の演題は「標茶町の縄文文化について」で、昨年から総合の時間で調べたことを報告していました。

また、中学校1年生の演題は「デジタル化」で、AIの普及を中心に急速に進むデジタル化の課題について指摘し、人とAIとの関係性や課題への対応について議論しながら、慎重にデジタル化を進めることが大切と訴えていました。

小学校は発表のみで賞はありませんが、優惺さんは優秀賞を獲得しました。6人とも学校の代表にふさわしい、立派な発表でした。



コミスク先生

小学校5年生では、ミシンを使った学習が始まりました。授業では、学校運営協議会（コミュニティー・スクール）から紹介された地域の方がゲストティーチャーとして来てくださり、針に糸を通す方法や縫い目をまっすぐにするコツなどを、分かりやすく丁寧に教えていただきました。

初めてミシンを使う子も多く、最初は緊張した表情を見せていましたが、地域先生の温かい声かけに励まされながら、自分の手で作品を仕上げていくうちに、笑顔が増えていきました。

子どもたちにとって、地域の方とふれあいながら学ぶ貴重な時間となりました。今後も、地域の皆さんと連携しながら、学びの輪を広げていきたいと思っています。

